

平成30年度 延岡市文化功労者

# 金丸さん、松田さんを表彰

平成30年度延岡市文化功労者の表彰式が13日、同市のカルチャープラザのべおかハーモニーホールであり、延岡商工会議所副会長、延岡信用金庫会長の金丸恵一さん(82)と出北一と天下一ひむか桜の会会長、コノハナロド市民応援隊代表の松田司さん(76)と夏田町に表彰状などが贈られた。

読谷山洋司市長はお祝いの言葉を述べ、「市民力、地域力を生かしたま

ちづくりを進めていくためにも、お一人にはぜひ今後もお力添えいただきたい」と今後にも期待した。

これを受けて、金丸さんは(受賞は)うれしいばかり。家族や周囲の方々に支えていただいた。中小企業、商店街の活性化が使命。社会貢献で恩返ししたい、松田さんは「これまでの活動も今回の受賞も谷平興二延岡観光協会会長はじめ多くの人のおかげ。体力が続く限り全力で働きたい」とそれぞれ喜びを語った。

金丸さんは延岡信用金庫会長、延岡商工会議所副会長、県信用金庫協会会長などの要職を歴任。平成26年には商工会議所と信用金庫間の「地域産業振興連携協力に関する協定」を九州で初めて締結させるなど地域経済活性化に貢献。同20、29年まで市体育協会副会長としてスポーツ振興にも尽力し、今年10月に市体育功労者を受賞。同19年に

は旭日双光章を受章した。松田さんは平成21年に「天下一ひむか桜の会」を設立して植栽に努め、五ヶ瀬川堤防に植えた河津桜と菜の花が「延岡花物語」成功の原動力となるなど市の観光産業に大きく貢献。延岡アースデイ実行委員会の相談役として後継者育成にも取り組んでいる。天下一ひむか桜の会は同29年に国交省の「手づくり郷土賞」クラプリを受賞するなど、

多くの賞を受けている。市文化賞は昭和25年度から始まり今年度で69回目。4部門(学芸文化、政経文化、保健体育文化、社会文化)あり、金丸さんは政経文化、松田さんは社会文化で選ばれた。受賞者数は今回を含めて195人。

## 延岡市文化功労者表彰式



市文化功労者表彰を受けた金丸さん(前列左)と松田さん(同右)

# 行藤神社

# 18日創建1300年祭

## 御神門完成も兼ね奉祝行事

延岡



18日に創建1300年の奉祝行事が行われる行藤神社(延岡市行藤町)

延岡市行藤町の行藤神社(甲斐重興宮司)創建1300年祭の奉祝行事が18日、同神社で行われる。記念の祭典は今年4月15日の例祭に合わせて既に実施されており、同日は本殿前に新たに建設した御神門の完成に合わせて、奉祝行事を行う。

御神門は神社敷地内で育った樹齢100年を超える大杉を切り出して資材にした。1300年祭に合わせて平成26年から本殿の屋根のふき替えを行った。  
神社から見上げる行藤山は古来から神霊の宿る山として信仰を集めてい

る。養老2(718)年に、紀州熊野権現を勧請し、上社(行藤山雄岳山頂付近)、中社(滝つぼ)、下社(現在の行藤神社)の社殿が建立され、行藤三所大権現と呼ばれた。神社にはオモタルノミコト、カシコネノミコト、イミズハノメノミコト、イザナミノミコト、コトサカオノミコト、ハヤタマオノミコトの6柱が主祭神に祭られている。  
同日は午前10時から拜殿で神事、地域の発展と安全、国の繁栄、氏子らの所願成就などを祈願する。御神門と碑銘板の除幕式を行い、神楽と臼太鼓踊りを奉納。20年以上社務所に保管されていた神社みこしが披露された後、紅白の餅をまいて祝う。  
甲斐宮司は「100年に1度の大切なお祭りに

を、氏子の皆さまとお祝いでできることは喜びであり、神様のお導きだと思っています。また、次の新たな100年に向けての出発の準備ができたことをお祝いする意味でも大切な日になります。これを機会に行藤神社のことを広く知っていただき、お参りいただけたらありがたいことです」と話していた。